

LE-SCa

ーレスカー (Metal Scale)
A Simple Intelligent Measurement tool

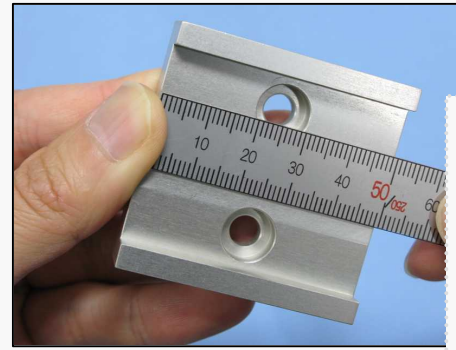
◎コンセプト

「スケール」それは機械技術者に必須の計測ツール。時に、加工された機械部品が許容公差の中に収まっているかを確認する厳しい検査道具として。時に新しいアイデアを記録する製図道具として。

常に技術者と共にあり、技術者のセンサとして、アクチュエータガイドとして働く。

そんなスケールに求められる「融通」それは計測のしやすさであり、計測の確かさである。メジャーでもなく、ノギスでもない。

スケールに求められる計測のレンジ、1mm以上、300mm以下。この計測レンジをカバーする胸ポケットの中に納まるスケール。そんな“融通のきくスケール”を今回提案します。



1つ1つの部品の精度がモノづくりの命



作業着の胸に収められた金尺、常に技術者の傍らに



Fig. 1 Photo of "Le-SCa" Mock-up

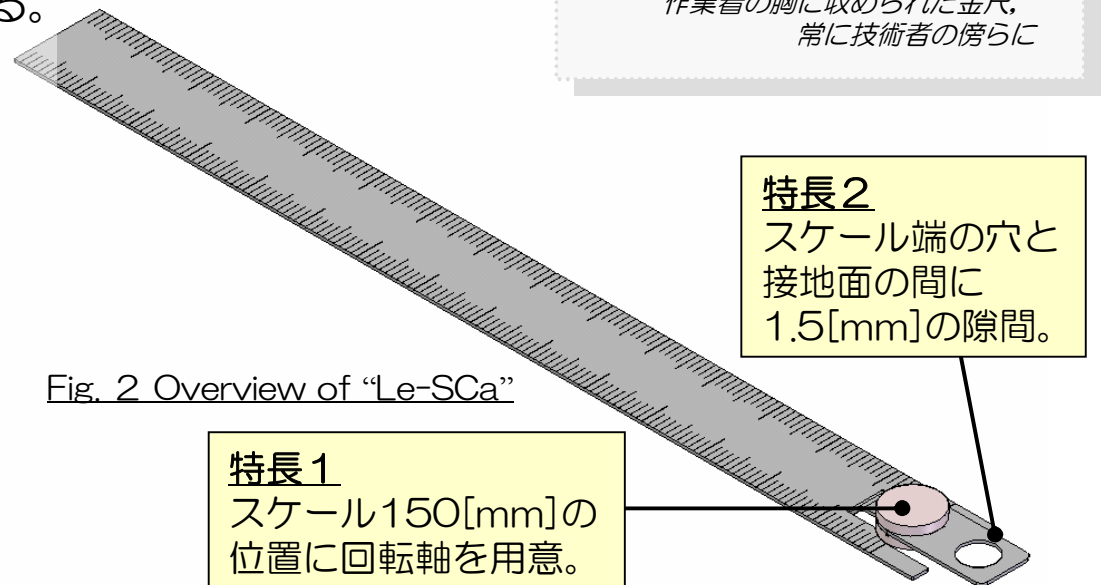


Fig. 2 Overview of "Le-SCa"

特長1
スケール150[mm]の位置に回転軸を用意。

特長2
スケール端の穴と接地面の間に1.5[mm]の隙間。

◎特長

- 1) 全長約150[mm]のスケールを回転軸を押さえながら180度回転させることによって長さ300[mm]までの計測が可能
→回転軸には90度刻みのラッチを用意し、300[mm]計測時の直線性を確保。
→回転軸裏面には回転軸を安定させるシリコンゴムを設置。(Fig.5参照)

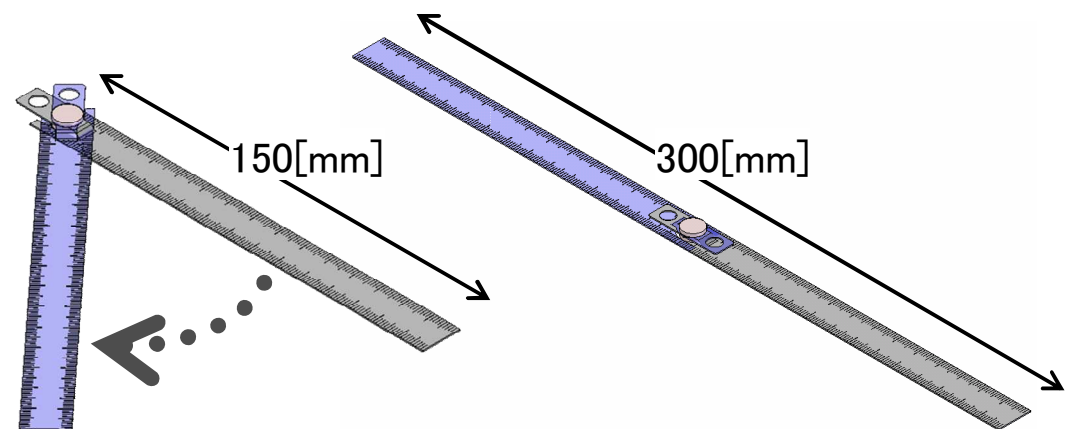


Fig. 3 Motion of Rotation

Fig. 4 Long Range Scale Mode

- 2) スケール端の穴部が接地面より1.5[mm]浮かせてあることにより、クリップ等の留め具を穴に装着している場合でもスケールが浮くことなく計測が可能。(Fig.6)

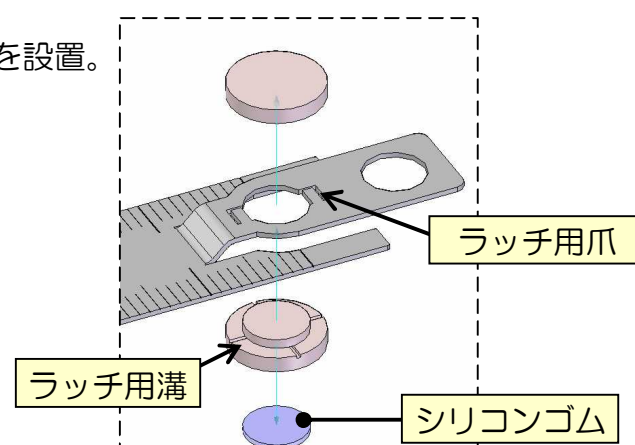


Fig. 5 Close-up View of Joint

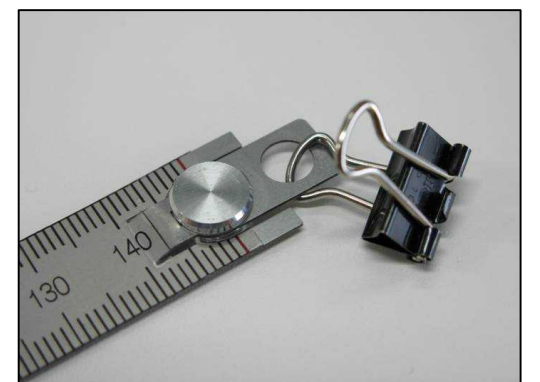


Fig. 6 A Clip is Attached to the Scale End.

◎三面図

